

# 剣道実施要項

## 1 日時・会場

令和4年8月28日（日）9：30～ 岡山武道館サブ道場 岡山市北区いずみ町2-1-8

## 2 主催

岡山県青年団協議会 岡山県青年祭実行委員会

## 3 共催

一般財団法人 岡山県剣道連盟

## 4 チーム編成

- (1) 男子 監督1名。選手5名（先鋒、次鋒、中堅、副将、大将）計6名を県内に居住するもので編成する。なお、2名までの補欠選手を別途加えることができる。  
女子 監督1名。選手3名（先鋒、中堅、大将）計4名を県内に居住するもので編成する。なお、1名の補欠選手を別途加えることができる。
- (2) 男子団体の大将は、30代の者とする。
- (3) 男女団体の監督は選手を兼ねることができる。

## 5 参加資格

- (1) 本大会の参加資格は、下記の通りとする。但し監督はこの限りではない。
  - ① 1987（昭和62）年4月2日以降2004（平成16）年4月1日までに出生した者。
  - ② 岡山県剣道連盟に登録した個人会員とする。
  - ③ 地域で活動する青年を参加対象とする。
  - ④ 大学生の参加を2名以内で認めるが、全日本学生剣道連盟に加盟するものは参加できない。
  - ⑤ 本大会2回までの出場は認める。
- (2) 医師の健康診断を受け、健康であることが証明された者。
- (3) 過去において、次にかかげる大会に出場した者は参加できない。
  - (ア) 国際大会ならびに全日本選手権大会
  - (イ) 国民体育大会剣道競技（少年の部の出場は除く）
  - (ウ) 全日本都道府県対抗優勝大会（高校生・大学生時の出場は除く）
  - (エ) 全国教職員大会
  - (オ) 全国警察官大会
- (4) 無資格の選手の参加を発見したときは、当該チーム全体を失格とする。
  - (ア) 試合中に発見されたときは、その試合を没収試合とする。
  - (イ) 試合後に発見されたときは、勝っていた場合も次の試合に進めない。

(ウ)いずれの場合も前の試合結果には及ばない。

## 6 競技方法

- (1) 試合は、一般財団法人全日本剣道連盟試合・審判規則と同細則および岡山県剣道連盟対外試合(大会)開催にあたっての感染拡大予防ガイドラインに記載の試合方法による。
  - ① トーナメント方式により行う。
  - ② 試合は3本勝負、試合時間は男子5分、女子3分とする。延長戦は男子3分、女子2分(各1回)の1本勝負とする。さらに、勝敗の決まらない場合は引き分けとする。
  - ③ 同勝者数・同総本数の場合は代表者戦とし、1本勝負とする。試合時間は男子3分、女子2分で、延長は勝負の決するまで行う。代表者戦は先鋒～大将の中より任意に選出して行う。
  - ④ 補欠選手と正選手との交代は、ケガ・病気等の理由により、そのポジションにおいて1回のみでの交代ができる。それ以外のオーダーの変更はできない。なお、交代したポジションにおける再度の交代はできない。
  - ⑤ 試合者は胴紐の交差点に赤または白の目印を中央から二つ折りにして着け、中央の大垂に姓を明記した布製の名札を着用すること。

## 7 剣道用具の取扱いについて

本大会における、剣道用具の取り扱いについては、安全性・公平性の観点から以下の通りとする。

- (1) 竹刀については次の事項を遵守すること。また大会当日に、計量・検査を必ず受けること。
  - 竹刀の長さ(全長・先革長)、重さ、太さ(先革先端対辺直径値及び先端より8cmのちくとう部対角直径値)は、表1、表2、表3及び図の通りとする。
  - ピース(四つ割り竹)の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更をしたものの使用は認めない。
- (2) 小手については次の事項を遵守すること。
  - 小手は、こぶしと前腕(肘から手首の最長部)の1/2以上を保護し、安全性を保つため小手指頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。
  - 小手ぶとん部のえぐり(クリ)の深さについては小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5cm以内である。
- (3) 面については次の事項を遵守すること。
  - 面ぶとんは安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力がある。
- (4) 剣道着については次の事項を遵守すること。
  - 剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること。(構えたときに肘関節が隠れること)

表1 竹刀の長さ、重さ、太さ

	長さ (全長)	重さ	太さ	
			先端部最小直径	ちくとう最小直径
男子	120センチメートル以下	510グラム以上	26ミリメートル以上	21ミリメートル以上
女子	120センチメートル以下	440グラム以上	25ミリメートル以上	20ミリメートル以上

表2 二刀の場合の竹刀の長さ、重さ、太さ (男子)

	長さ (全長)	重さ	太さ	
			先端部最小直径	ちくとう最小直径
大刀	114センチメートル以下	440グラム以上	25ミリメートル以上	20ミリメートル以上
小刀	62センチメートル以下	280~300グラム	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上

表3 二刀の場合の竹刀の長さ、重さ、太さ (女子)

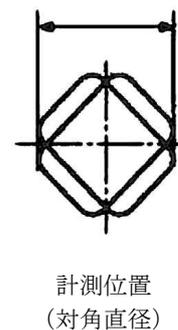
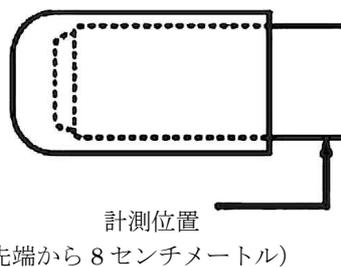
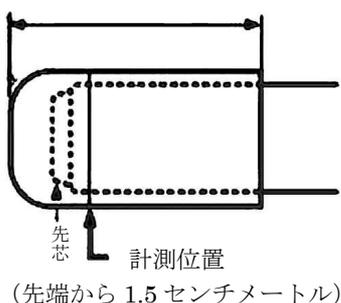
	長さ (全長)	重さ	太さ	
			先端部最小直径	ちくとう最小直径
大刀	114センチメートル以下	400グラム以上	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上
小刀	62センチメートル以下	250~280グラム	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上

図. 竹刀の先革長、先革先端部最小直径値、ちくとう直径値の計測方法

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

<ちくとうの最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



## 8 運営上留意すべき事項

- (1) 足袋（布製）、テーピング、サポーターなどの使用については、見苦しくなく、かつ相手に危害を加えない範囲において認めるが、あらかじめ審判長または審判主任に申し出ること。
- (2) 面紐の長さは結び目から約40cm以内とする。

## 9 安全管理

出場選手は、各自十分健康管理に留意し本大会に出場すること。また、出場選手は、健康保険証を持参のこと。

試合実施中、傷害発生の場合は、応急処置を講じ、近隣の病院を紹介する。また AED を常備する。

なお主催者は大会中に出場選手の事故に対し（大会会場への往復途上を含む）、傷害保険に加入する。

## 10 参加費

チーム参加費として、男子は5,000円、女子は3,000円とする。

また運営協力金は、一人500円とする。なお、監督及び補欠選手も含める。

## 11 参加申し込み方法、及び締め切り

(1) 岡山県青年祭への参加の申し込みは、所定の申し込み用紙（別に定める）に記入のうえ、岡山県青年祭事務局へ期限厳守で申し込むものとする。

(2) 参加申込みは、体育の部は2022（令和4）年7月9日（土）15：00までとする。

(3) 申込用紙を県青年祭事務局へ郵送またはMAILにて提出することとする。

但し、7月9日（土）に限り持参可能とし、10：00～15：00を受付時間とする。

(4) 参加費の納入は7月9日（土）15：00までに振込、もしくは現金書留とする。

但し、7月9日（土）に限り持参可能とする。

(5) 申込書に必要事項が記入されていない場合は、受け付けない。

(6) 締切期日を過ぎた後の申し込み及び変更は岡山県青年祭終了まで一切受け付けない。

ただし、以下の場合はその限りではない。

① 病気、けがで入院するなど参加不可能の場合、医師の診断書を、各種競技当日の監督者会議までに事務局に提出すれば参加登録は抹消する。なお、病気、けがなどの理由で参加登録抹消者が発生し、チーム全員の参加が不可能となった場合は、チーム全員の参加登録を取り消す。

② 団体競技種目で参加登録抹消者が発生した場合、参加者の入れ替えを認める。

また、入れ替え登録は各種競技当日の監督者会議までに事務局へ申請し、なおかつ監督会議での報告を義務とする。入れ替え後の氏名はプログラムには記載されない。なお、入れ替え登録した参加者の大会参加費及び大会運営費、保険料は発生しないものとする。

(7) やむをえず棄権をする場合は、事務局（試合当日は競技運営本部）まで必ず届けること。

### 【参加費振込先口座】

中国銀行	法界院支店
口座番号	（普通）1345824
口座名義	岡山県青年団協議会

## 1.2 岡山県青年祭事務局

申し込み、および問い合わせ先は以下の通りとする。

<大会事務局>

岡山県青年団協議会

〒700-0081 岡山県岡山市津島東1-4-1（岡山県青年館）

電話 086-254-7058 / FAX 086-254-7724

E-mail okayamakenseinendan@gmail.com

## 1.3 その他

- (1) 基準要項、体育の部基準要項に定めるところによる。
- (2) 本大会では、「対外試合（大会）開催にあたっての感染拡大予防ガイドライン」により、出場および参加を認めないことがある。
- (3) 出場選手は、入場時「体調確認票」を受付に提出すること。
- (4) 出場選手は、対外試合（大会）開催にあたっての感染拡大予防ガイドラインに従い、鼻と口を確実に覆う面マスクおよび口元を覆うシールドを着用すること。
- (5) 今後の感染拡大状況により、試合方法が変更となることがある。
- (6) 記載のない内容については主催者で判断する。